

# HoRC-MSA ニュースレター

## 旭川・函館で多系統萎縮症の講演会を開催

HoRC-MSAに関連した取組みとして、旭川市（開催日：2016年10月30日）と函館市（開催日：2016年11月19日）でHoRC-MSA代表である北海道大学神経内科 佐々木 秀直 教授の講演会が開催されました。講演会には2回併せて130名を超える医療関係者、患者・家族のみなさまが出席し、多系統萎縮症の原因究明や治療法開発に向けた最新の研究や多系統萎縮症の症状に対する日常生活の対処方法などが紹介されました。函館の講演会では、講演会が終わった後に情報交換の時間も設けられました。情報交換では、日常生活で困っていることや具体的な疑問点について、活発な質疑応答が行われました。



### 講演会の主なトピックの紹介



講演会では、最新の研究として多系統萎縮症の診断に役立つアルファシヌクレインという脳に蓄積する物質の画像検査方法や多系統萎縮症における短期集中型のリハビリテーションを行った場合の効果などが紹介されました。また、日常生活に支障をきたす症状であるふらつきや歩きづらさ、言葉の出づらさ、立ち上がったときの立ちくらみ、排尿のしづらさなどへの対処方法や自宅での生活を過ごしやすいするための工夫なども紹介されました。また、参加された患者さんやご家族の方からは、ロボットスーツを使ったリハビリテーションの可能性についての質問があったり、病気になったから気づいたこともあるといった経験談が話されたりしていました。

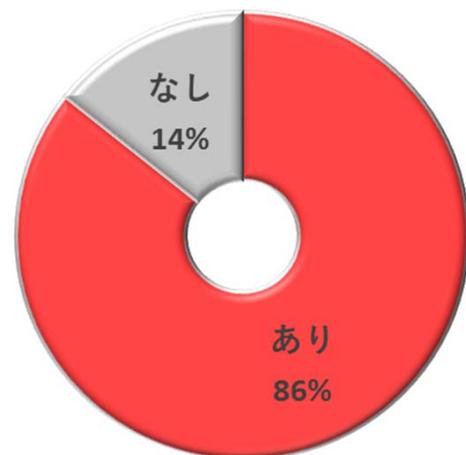
## 神経学会北海道地方会でHoRC-MSA調査結果を報告

HoRC-MSAは、患者レジストリがスタートして2年間で集まったデータを解析し、2016年9月10日に札幌で開催された日本神経学会北海道地方会で発表を行いました。この北海道地方会は、北海道の多くの神経内科医が出席する集まりで、年2回のペースで毎年開催されているものです。

発表の内容は、多くの患者・家族のみなさまの協力により集まった120名を超えるデータに基づく北海道の多系統萎縮症の実態と治療薬の使用状況でした。実態として、HoRC-MSAに参加いただいている患者の半数以上は歩行が困難な状況であることがわかりました。また、治療薬の使用状況としてL-Dopa製剤というパーキンソン病の治療で使用される薬剤が、多系統萎縮症全体の4割程度で使用されており、そのうちパーキンソン症状が主体の多系統萎縮症患者に限定すると9割程度で使用されていることがわかりました。

これらの調査結果が、北海道地方会を通じて全道の神経内科医の先生方に報告されることで、北海道における多系統萎縮症の実態を考慮した治療方針を立てやすくなることが期待されます。

パーキンソン症状が主体の患者  
におけるL-Dopa製剤内服率



# 神経内科医が集まる日本の学会・世界の学会

多系統萎縮症をはじめとして、神経内科医が診療している病気の研究は学会という集まりで報告されます。HoRC-MSA ニュースレター Vol.3でお伝えした日本神経学会は、日本の神経内科に関する学会で最も中心的な役割を果たしている学会です。その他の学会として、神経内科疾患の診断・治療に焦点をおく日本神経治療学会があり、2016年11月に鳥取県米子市で開催されました。いずれの学会も年1回開催されており、多くの神経内科医が参加し最新の研究結果が報告されるとともに、患者・家族のみなさまを対象とした講演会も開催されます。一方で世界の学会に目を向けると、

World Congress of Neurology (世界神経学会) という世界中の神経内科医が集まる学会が、2年に1回開催されています。前回は、2015年に南米のチリで開催されました。

今後の予定として、2017年には世界神経学会が日本の京都、2018年には日本神経学会が札幌で開催予定です。札幌で日本神経学会が開催されるのは2002年以来16年ぶりとなります(左写真:2002年開催時のもの)。HoRC-MSAでは、これらの学会に最新の研究結果を報告するとともに、最新の情報をニュースレターを通してお伝えしていきます。



平成14年5月29日～31日 札幌で開催された日本神経学会総会にて

## 調査への御回答のお願い

HoRC-MSAへの参加希望の「意向調査」の返信をいただいた方には、研究説明同意文書とスクリーニング調査票をお送りしています。「同意書」の提出のない場合は、参加する方の承諾が得られていないということになりますので、調査研究を進めていくことができません。HoRC-MSAに参加をご希望の方で、もし同意書が未提出でお手元にある方は、返信用封筒に入れて事務局へお送りください。

まもなく登録3年目の方には、所定の調査票をお送りする予定としています。こちらにもご協力をお願いします。

時々、転居などのためにこちらから発送した書類が届かずに返送されてくる場合があります。住所変更、通院先が変わったとき、お亡くなりになられた時など、何かありましたら、同封の「変更用紙」にてお知らせをよろしくをお願いします。



### HoRC-MSA事務局

〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目

北海道大学大学院医学研究科神経病態学講座

神経内科分野(北海道大学病院神経内科)

TEL 011-706-6028 FAX 011-700-5356

URL <http://neurology.med.hokudai.ac.jp/~neuro-w/horc-msa/>

## 質問・ご意見等募集

HoRC-MSAでは、みなさまのご意見やご質問を募集しています。お寄せいただいた内容は、個人情報に留意しつつ、HoRC-MSAの取り組み・運営の参考にさせていただきます。

〒060-8638

札幌市北区北15条西7丁目

北海道大学大学院医学研究科神経病態学講座

神経内科分野 HoRC-MSA事務局

## 編集後記

ニュースレター第4号では、旭川と函館で開催された講演会について、概要だけではなく主なトピックを含めた記事でお届けしました。広い北海道では、講演会に興味があっても参加できない患者・家族のみなさまもいらっしゃるかと思います。これからも、ニュースレターを通してより多くのみなさまに情報をお届けしていきます。

(HoRC-MSA事務局)